

xyz 空間において、点 $P(1, 0, 1)$ をとり、 xy 平面 ($z = 0$) 上にあり x 座標が 1 ではない点 Q に対し、直線 PQ と yz 平面 ($x = 0$) の交点を R とする。

また、 xy 平面 ($z = 0$) 上の連立不等式

$$\begin{cases} x^2 + y^2 \leq 1 \\ x + y \leq 0 \end{cases}$$

で表される領域を D とする。

- (1) D を xy 平面上に図示せよ。
- (2) Q が $(\cos \theta, \sin \theta, 0)$ ($0 < \theta < 2\pi$) のとき、 R の座標を求めよ。
- (3) Q が領域 D を動くとき、 R の動く yz 平面 ($x = 0$) 上の領域を E とする。 E を yz 平面上に図示し、その面積を求めよ。

(25 青山学院大 社会情報 C 5)

【答】

(1) 略

$$(2) R\left(0, \frac{\sin \theta}{1 - \cos \theta}, -\frac{\cos \theta}{1 - \cos \theta}\right)$$

(3)

【解答】

(1) D は xy 平面 ($z = 0$) 上の連立不等式

$$\begin{cases} x^2 + y^2 \leq 1 \\ x + y \leq 0 \end{cases}$$

で表される領域である。円 $x^2 + y^2 = 1$ と直線 $x + y = 0$ の交点の x 座標は

$$x^2 + (-x)^2 = 1 \quad \therefore x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$$

である。 $y = -x$ であるから、交点の座標は

$$\left(\pm \frac{1}{\sqrt{2}}, \mp \frac{1}{\sqrt{2}}\right) \text{ (複号同順)}$$

であり、 D は右図の斜線部分となる。

(2) $P(1, 0, 1)$, $Q(\cos \theta, \sin \theta, 0)$ ($0 < \theta < 2\pi$) のとき、直線 PQ 上の点 R は実数 t を用いて

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OR} &= \overrightarrow{OP} + t\overrightarrow{PQ} \\ &= (1, 0, 1) + t(\cos \theta - 1, \sin \theta, -1) \\ &= (1 + t(\cos \theta - 1), t \sin \theta, 1 - t) \end{aligned}$$

と表すことができる。 R は yz 平面 ($x = 0$) 上の点でもあるから

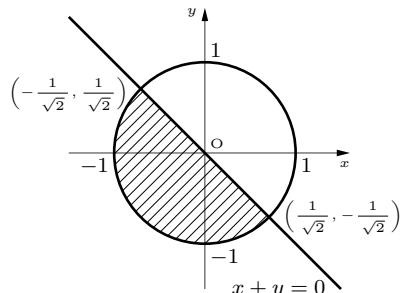
$$1 + t(\cos \theta - 1) = 0$$

$$\therefore t = \frac{1}{1 - \cos \theta} \quad (\because 0 < \theta < 2\pi \text{ より } 1 - \cos \theta \neq 0)$$

である。よって、 R の座標は

$$R\left(0, \frac{\sin \theta}{1 - \cos \theta}, -\frac{\cos \theta}{1 - \cos \theta}\right) \quad \cdots \cdots \text{(答)}$$

である。



(3) Q が領域 D を動くとき, Q の座標は実数 r, θ ($0 \leq r \leq 1, \frac{3}{4}\pi \leq \theta \leq \frac{7}{4}\pi$) を用いて

$$Q(r \cos \theta, r \sin \theta, 0)$$

と表すことができる. このとき R は (2) の $\cos \theta, \sin \theta$ を $r \cos \theta, r \sin \theta$ とかえることにより

$$R\left(0, \frac{r \sin \theta}{1 - r \cos \theta}, -\frac{r \cos \theta}{1 - r \cos \theta}\right)$$

となる. Q が動くときの R の動く yz 平面 ($x = 0$) 上の領域 E は, Q の座標を $(0, y, z)$ とおくと

$$(*) \begin{cases} 0 \leq r \leq 1 & \dots \dots \textcircled{1} \\ \frac{3}{4}\pi \leq \theta \leq \frac{7}{4}\pi & \dots \dots \textcircled{2} \\ y = \frac{r \sin \theta}{1 - r \cos \theta} & \dots \dots \textcircled{3} \\ z = -\frac{r \cos \theta}{1 - r \cos \theta} & \dots \dots \textcircled{4} \end{cases}$$

を満たす r, θ が存在するような点 $(0, y, z)$ の集合である.

④ より

$$z = 1 - \frac{1}{1 - r \cos \theta} \quad \therefore \quad \frac{1}{1 - r \cos \theta} = 1 - z$$

であり

$$\begin{aligned} \text{「③かつ④」} &\iff \begin{cases} \frac{1}{1 - r \cos \theta} = 1 - z \\ y = r \sin \theta \cdot (1 - z) \end{cases} \\ &\iff \begin{cases} r \cos \theta = 1 - \frac{1}{1 - z} = -\frac{z}{1 - z} \\ r \sin \theta = \frac{y}{1 - z} \end{cases} \end{aligned}$$

である. また, $(r \cos \theta, r \sin \theta)$ が 「①かつ②」 を満たすための条件は

$$\begin{cases} (r \cos \theta)^2 + (r \sin \theta)^2 \leq 1 \\ r \cos \theta + r \sin \theta \leq 0 \end{cases}$$

であるから, (*) を満たす r, θ が存在するための y, z の条件は

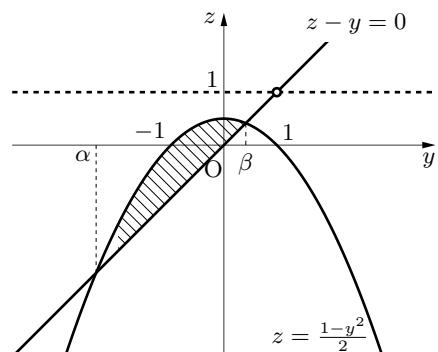
$$\begin{aligned} &\begin{cases} \left(-\frac{z}{1-z}\right)^2 + \left(\frac{y}{1-z}\right)^2 \leq 1 \\ -\frac{z}{1-z} + \frac{y}{1-z} \leq 0 \end{cases} \\ &\iff \begin{cases} 1 - z \neq 0 \\ z^2 + y^2 \leq (1-z)^2 \\ (1-z)(-z+y) \leq 0 \end{cases} \iff \begin{cases} z \neq 1 \\ z \leq \frac{1-y^2}{2} \\ (z-1)(z-y) \leq 0 \end{cases} \end{aligned}$$

である. 放物線 $z = \frac{1-y^2}{2}$ と直線 $z-y=0$

の共有点の y 座標は

$$\begin{aligned} \frac{1-y^2}{2} &= y \\ y^2 + 2y - 1 &= 0 \\ \therefore y &= -1 \pm \sqrt{2} \end{aligned}$$

であり, $\alpha = -1 - \sqrt{2}$, $\beta = -1 + \sqrt{2}$ とおくと, R の動く yz 平面 ($x = 0$) 上の領域 E は右図の斜線部分となる.



面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \int_{\alpha}^{\beta} \left(\frac{1-y^2}{2} - y \right) dy \\ &= -\frac{1}{2} \int_{\alpha}^{\beta} (y-\alpha)(y-\beta) dy \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{(\beta-\alpha)^3}{6} \\ &= \frac{(2\sqrt{2})^3}{12} \\ &= \frac{4\sqrt{2}}{3} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。